

2020年度

日本大学大学院芸術学研究科入学試験案内

日本大学大学院芸術学研究科
〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
TEL : 03-5995-8202<大学院入試係>
FAX : 03-5995-8209
E-mail : art.kyoumu@nihon-u.ac.jp

目 次

I	2020年度日本大学大学院芸術学研究科入学試験案内	
1	試験区分・募集専攻	1
2	試験科目	1
3	試験期日等	3
4	入学検定料及び学費等	4
5	博士前期課程一般入学試験出願時に必要な書類等一覧	5
6	博士後期課程一般・社会人入学試験出願時に必要な書類等一覧	6
7	入学定員	7
8	2020年度大学院芸術学研究科入学者の授業校舎	7
II	2020年度大学院入学試験 小論文試験・実技試験・論文試験等の詳細	8
III	2020年度大学院入学試験 審査のための提出作品・論文等の詳細	
1	博士前期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験》	9
2	博士後期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験》	11
IV	大学院芸術学研究科入学試験提出作品・論文等証明書〈様式〉	12
V	2020年度日本大学大学院芸術学研究科入学試験出願資格	
1	博士前期課程一般入学試験	13
2	博士後期課程一般入学試験	14
3	博士後期課程社会人入学試験	14
VI	大学院芸術学研究科の教育方針	
1	入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）	15
2	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	15
3	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	15
VII	履修案内（2019年度参考）	
1	博士前期課程文芸学専攻	16
2	博士前期課程映像芸術専攻	17
3	博士前期課程造形芸術専攻	18
4	博士前期課程音楽芸術専攻	19
5	博士前期課程舞台芸術専攻	20
6	博士後期課程芸術専攻	21
VIII	芸術学研究科研究指導教授一覧	
1	博士前期課程	22
2	博士後期課程	23

IX 芸術学研究科出願前事前連絡確認

- 1 大学院芸術学研究科事前相談・連絡申込書<様式>……………24
- 2 大学院芸術学研究科入学試験事前連絡確認書<サンプル> ……25

1 試験区分・募集専攻

- | | |
|--------------|---|
| ① 外国人留学生入学試験 | 《博士前期課程》文芸学, 映像芸術, 造形芸術, 音楽芸術, 舞台芸術
《博士後期課程》芸術 |
| ② 学部内選考入学試験 | 《博士前期課程》文芸学, 映像芸術, 造形芸術, 音楽芸術, 舞台芸術 |
| ③ 一般入学試験 | 《博士前期課程》文芸学, 映像芸術, 造形芸術, 音楽芸術, 舞台芸術
《博士後期課程》芸術 |
| ④ 社会人入学試験 | 《博士後期課程》芸術 |

<注> 大学院芸術学研究科へ出願する場合、出願前に研究科へ事前連絡する必要がある。
各専攻における入学後の研究可能領域及び指導教授について、「GSA」と「研究指導教授一覧」(P.22~23)を参照の上、遅くとも出願締切日の10日前までに芸術学部江古田校舎教務課に「事前相談・連絡申込書」をメールかFAXで送付してください。(窓口への持参可)
申込書受領後、後日、大学院係より希望指導教授との面談日程等が通知されるので、お待ちください。事前面談を経て、指導教授や研究内容等の確認完了後、研究科より事前連絡確認書が交付されます。出願される際は、必ず他の出願書類とともに確認書を提出してください。

2 試験科目

専攻	試験区分	試験科目
博士前期課程 文芸学	外国人留学生	① 日本語による小論文試験 ② 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 日本語による小論文試験
	一般	① 外国語試験 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ※ 辞書参照可 ② 日本語による小論文試験 ③ 日本語による口述試験
博士前期課程 映像芸術	外国人留学生	① 日本語による小論文試験 ② 論文(日本語)または作品審査 ③ 日本語による口述試験
	学部内選考	日本語による口述試験
	一般	① 外国語試験 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ※ 辞書参照可 ② 日本語による小論文試験 ③ 論文(日本語)または作品審査 ④ 日本語による口述試験
博士前期課程 造形芸術	外国人留学生	① 日本語による小論文試験または実技試験 ② 作品または論文(日本語)審査 ③ 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 作品等の審査
	一般	① 外国語試験(造形理論分野のみ実施) 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ※ 辞書参照可 ② 日本語による小論文試験または実技試験 ③ 作品または論文(日本語)審査 ④ 日本語による口述試験

※「事前相談・連絡申込書」の様式は24ページに掲載しています。コピーしてお使いください。

専攻	試験区分	試験科目
博士前期課程 音楽芸術	外国人留学生	① 外国語試験 英語・独語・仏語・伊語のうち自国語を除く1か国語選択 ※ 辞書参照可 ② 日本語による小論文試験 ③ 実技（筆記を含む）試験または論文（日本語）・作品審査 ④ 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 実技試験または論文（日本語）・作品審査
	一般	① 外国語試験 英語・独語・仏語・伊語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ※ 辞書参照可 ② 日本語による小論文試験 ③ 実技（筆記を含む）試験または論文（日本語）・作品審査 ④ 日本語による口述試験
博士前期課程 舞台芸術	外国人留学生	① 日本語による小論文試験 ② 論文（日本語）または作品・資料審査 ③ 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 論文（日本語）または作品・資料審査
	一般	① 外国語試験 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ※ 辞書参照可 ② 日本語による小論文試験 ③ 論文（日本語）または作品・資料審査 ④ 日本語による口述試験
博士後期課程 芸術	外国人留学生	① 外国語試験 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ※ 辞書参照可 ② 日本語による論文試験 ③ 論文（日本語）または作品審査 ④ 日本語による口述試験
	一般	① 外国語試験 英語・独語・仏語・伊語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ※ 辞書参照可 ② 日本語による論文試験 ③ 論文（日本語）または作品審査 ④ 日本語による口述試験
	社会人	①日本語による口述試験 ②業績審査 ③日本語による論文試験

<注1> 論文及び小論文試験のテーマ・字数・時間等は、原則として当日の試験時に指示します。

<注2> 論文及び小論文試験は、すべて辞書参照不可です。また、外国語試験において、辞書参照可とする場合の辞書は書籍辞書のみとし、電子辞書等は不可とします。

<注3> 審査作品・審査論文・実技試験等の詳細は別紙を参照してください。

<注4> 芸術学研究科では、一部の入学試験を除き過去問題は公表しておりません。

3 試験期日等

① 博士前期課程

試験区分	専攻	入試要項等配布・頒布期間・場所	出願期間	試験期日	合格発表期日	入学手続期間
外国人留学生	文芸学	2019年6月10日(月)	2019年			2020年
	映像芸術	ダウンロード開始予定(無料)	7月1日(月)	2019年	2019年	1月8日(水)
	造形芸術		〃	11月21日(木)	12月4日(水)	〃
	音楽芸術	日本大学ホームページにて	10月10日(木)			1月21日(火)
	舞台芸術		【本部学務部入学課へ郵送必着】	【入学試験場=江古田校舎】	【速達郵便にて通知】	※二段階手続締切日 =2020年3月18日(木)
学部内選考	文芸学	2019年9月下旬	2019年			2020年
	映像芸術	配布予定(無料)	10月2日(水)	2019年	2019年	2月27日(木)
	造形芸術		〃	11月21日(木)	12月4日(水)	〃
	音楽芸術	芸術学部教務課窓口配布	10月24日(木)			3月12日(木)
	舞台芸術		【窓口受付】 (芸術学部教務課)		【速達郵便にて通知】	
一 般	文芸学	2019年11月中旬～	2020年			2020年
	映像芸術	ダウンロード開始(無料)	1月8日(水)	2020年	2020年	2月27日(木)
	造形芸術		〃	2月13日(木)	2月26日(水)	〃
	音楽芸術	日本大学ホームページにて	1月21日(火)			3月12日(木)
	舞台芸術		【芸術学部教務課へ郵送必着】 【最終日のみ芸術学部 教務課にて窓口受付】		【速達郵便にて通知】	

② 博士後期課程

試験区分	専攻	入試要項等配布・頒布期間・場所	出願期間	試験期日	合格発表期日	入学手続期間
外国人留学生	芸術	2019年6月10日(月)	2019年			2020年
		ダウンロード開始予定(無料)	7月1日(月)	2019年	2019年	1月8日(水)
		日本大学ホームページにて	〃	11月21日(木)	12月4日(水)	〃
			10月10日(木)			1月21日(火)
			【本部学務部入学課へ郵送必着】		【速達郵便にて通知】	※二段階手続締切日 =2020年3月18日(木)
一 般		2019年11月中旬～	2020年			2020年
		ダウンロード開始(無料)	1月22日(水)	2020年	2020年	3月6日(金)
社 会 人			〃	2月22日(土)	3月4日(水)	〃
		日本大学ホームページにて	2月5日(水)			3月23日(月)
			【芸術学部教務課へ郵送必着】 【最終日のみ芸術学部 教務課にて窓口受付】		【速達郵便にて通知】	

<注1> 出願書類の詳細は、募集要項にて確認してください。

<注2> 入学試験は、すべて**江古田校舎**にて行います。

<注3> 外国人留学生入学試験合格者の場合、入学申込金方式により入学手続を二段階で行うこともできます。詳細は合格後に送付される入学手続要項をご覧ください。

<注4> 学部内選考入試以外の入試要項及び願書は、日本大学のホームページからダウンロードすること。紙媒体による配布はしておりません。詳細は下記URLをダウンロードしてください。

- ・外国人留学生入試 URL : http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/international/form_download/
- ・一般及び社会人入試 URL : http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/graduate/application_forms/

◎ 博士前期課程学部内選考入学試験出願資格

2020年3月25日 日本大学芸術学部卒業見込みの者(学科・コースは不問)

◎ 博士後期課程社会人入学試験出願資格

日本国内の公共機関・企業等に現に勤務し、入学後も継続して勤務を続ける者

4 入学検定料及び学費等

① 入学検定料 35,000円

本研究科指定の振込用紙を使用し、金融機関から振り込んでください

※ATM・ゆうちょ銀行からの振込はできません

※外国人留学生入学試験受験者の納入方法は、以下のいずれかとなります

①クレジットカード ②コンビニエンスストア ③ペイジー ④ネット専業銀行（ペイジー以外）

（日本国外はクレジットカードのみ、詳細は外国人留学生入学試験要項を参照のこと）

※いったん納入された入学検定料は原則返還しません

② 2019年度学費等

課程・専攻 内 訳		博士前期課程					博士後期課程
		文 芸 学	映像芸術	造形芸術	音楽芸術	舞台芸術	芸 術
◎入学金	学内者	—					
	学外者	200,000					
②授業料		600,000	680,000	710,000	710,000	680,000	700,000
②施設設備資金		200,000					
②実験実習料		40,000	100,000	90,000	110,000	70,000	—
校友会費〔準会員〕		10,000					
初年度納入金額	学内者	850,000	990,000	1,010,000	1,030,000	960,000	910,000
	学外者	1,050,000	1,190,000	1,210,000	1,230,000	1,160,000	1,110,000
入学手続時最小金額	学内者	430,000	500,000	510,000	520,000	485,000	460,000
	学外者	630,000	700,000	710,000	720,000	685,000	660,000
二年次		850,000	990,000	1,010,000	1,030,000	960,000	910,000
三年次							910,000

<注1> 金額の単位は円

<注2> ◎＝入学手続時のみ納入 ②＝分納回数

<注3> 校友会費〔準会員〕は、毎年前期に徴収します。また、修了年度後学期に正会員会費初年度分を10,000円徴収します。

<注4> 学内者＝**本大学を卒業した者または本大学院を修了した者**
学外者＝学内者以外の者

5 博士前期課程一般入学試験出願時に必要な書類等一覧

※ ○=必要 ×=不要 △=卒業論文・作品・制作に代えることも可（所定用紙=提出作品届を提出すること）

専攻	志願者区分	入学 志願票	成績 証明書	卒業証明書・ 卒業見込証明書	指導教授又はこれに準ずる者の 推薦書 ※②を参照	提出作品・ 論文等証明書 ※③を参照	研究計画 概要書	入学検定料 (試験料) 振込証明書 (大学提出用)
			※発行日が出願前3ヶ月以内のもの					
文芸学専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	×	○	○
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	×	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	×	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	×	○	○
映像芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	○
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
造形芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	○
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
音楽芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	注④	○
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△		○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○		○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○		○
舞台芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	○
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○

注意事項

- ① 二重線内は、本研究科所定用紙または所定用紙に準じた様式で作成すること。
 - ② 指導教授又はこれに準ずる者の推薦書については、原則在籍中又は卒業した最終学歴教育機関の指導教員が作成したもの（原則日本語又は英語）を提出すること。
 - ③ 提出作品・論文等については別紙詳細を参照すること。また、提出する作品・論文等が自己のものであることの**証明書**（本研究科所定用紙）を必ず提出すること。なお、証明書が提出されない場合は、作品・論文等は受理しない。
 - ④ 音楽芸術専攻への志願者の提出作品・論文等については上記の志願者区分にかかわらず、別紙詳細を熟読すること。
 - ⑤ 音楽芸術専攻の実技試験実施分野（声楽、器楽、音楽学、音楽教育、情報音楽）への志願者は、上記の志願者区分にかかわらず入学試験実技曲目届出書（本研究科所定用紙）を提出すること。
 - ⑥ **研究科交付の「事前連絡確認書」を必ず提出すること。**提出がない場合、**出願は受理しない。**
- ※ 身体の機能に著しい障害のある方は、受験及び就学が困難な場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に、**必ず芸術学部教務課大学院係に相談してください。**
- ※ **いったん提出された出願書類及び納入された入学検定料は返還しません。**
また、提出後の専攻・分野の変更は認めません。

6 博士後期課程一般・社会人入学試験出願時に必要な書類等一覧

※ ○=必要 ×=不要 △=修士論文・作品・制作に代えることも可（所定用紙=提出作品届を提出すること）

専攻	志願者区分	入学志願票	成績証明書	修了証明書・修了見込証明書	指導教授又はこれに準ずる者の推薦書 ※②を参照	提出作品・論文等証明書 ※③を参照	研究計画書等一式 <small>調査票, 計画書, 創作業績リスト</small>	入学検定料(試験料)振込証明書(大学提出用)
			※発行日が出願前3ヶ月以内のもの					
芸術専攻	芸術学研究科修了見込者	○	○	○(修了見込証明書)	×	△	○	○
	芸術学研究科修了者	○	○	○(修了証明書)	○	△	○	○
	日本大学大学院他研究科修了見込者及び修了者	○	○	○	○	○	○	○
	他大学院修了見込者及び修了者	○	○	○	○	○	○	○

注意事項

- ① 二重線内は、本研究科所定用紙または所定用紙に準じた様式で作成すること。
 - ② 指導教授又はこれに準ずる者の推薦書については、原則在籍中又は修了した最終学歴教育機関の指導教員が作成したもの（原則日本語又は英語）を提出すること。
 - ③ 提出作品・論文等については別紙詳細を参照すること。また、提出する作品・論文等が自己のものであることの**証明書**（本研究科所定用紙）を必ず提出すること。なお、証明書が提出されない場合は、作品・論文等は受理しない。
 - ④ 社会人入試志願者は、上記の志願者区分にかかわらず以下の2点を加えて提出すること。
 - (1) **研究業績報告書（本研究科所定用紙）**
 - (2) **勤務先所属長の推薦書**
 - ⑤ 研究科交付の「事前連絡確認書」を必ず提出すること。提出がない場合、出願は受理しない。
- ※ 身体の機能に著しい障害のある方は、受験及び就学が困難な場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に、必ず芸術学部教務課大学院係に相談してください。
- ※ いったん提出された出願書類及び納入された入学検定料は返還しません。
また、提出後の分野の変更は認めません。

7 入学定員

《博士前期課程》

専攻名	文芸学	映像芸術	造形芸術	音楽芸術	舞台芸術	計
入学定員	20名	20名	15名	10名	10名	75名

《博士後期課程》

芸術専攻	一般入試	社会人入試	計
入学定員	5名	3名	8名

8 2020年度大学院芸術学研究科入学者の授業校舎

日本大学芸術学部江古田校舎

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

TEL:03-5995-8202 FAX: 03-5995-8209

email: art.kyoumu@nihon-u.ac.jp <教務課大学院係>

(池袋駅より西武池袋線各駅停車にて江古田駅下車 北口より徒歩1分)

大学院入試に関する電話でのお問い合わせは、

電話 03-5995-8202 芸術学部教務課大学院係までどうぞ

月～金曜日 9:00～17:00, 土曜日 9:00～正午までです。

※祝祭日及び事務休業日を除きます。

2020年度大学院入学試験 小論文試験・実技試験・論文試験等の詳細

博士前期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験》

専攻	小論文試験・実技試験等の詳細
文 芸 学	小論文試験 試験当日に与えられたテーマで記述する
映像芸術	小論文試験（全分野を対象） 試験当日に与えられたテーマで記述する
造形芸術	1 小論文試験 (コミュニケーションデザイン分野, インダストリアルデザイン分野, 建築デザイン分野, 造形理論分野を対象) 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 実技試験（絵画分野, 版画分野, 彫刻分野を対象） ① 絵画分野及び版画分野 デッサン2時間 ② 彫刻分野 デッサン3時間
音楽芸術	1 小論文試験（全分野を対象） 専攻分野にかかわる研究テーマをあらかじめ各自設定し, 記述する 2 実技試験（声楽分野, 器楽分野, 音楽学分野, 音楽教育分野, 情報音楽分野を対象） ① 声楽分野 オペラまたはオラトリオのアリアと歌曲（計15分以上。暗譜） ② 器楽分野 各自の専攻する器楽曲（15分以上。暗譜） ※ ピアノ以外の楽器で受験する場合は, 事前に問い合わせること ③ 音楽学分野 (1) 音楽学に関する筆記試験（60分） (2) ピアノまたは声楽実技（5分程度の自由曲。暗譜） ④ 音楽教育分野 (1) 音楽教育に関する筆記試験（60分） (2) ピアノまたは声楽実技（5分程度の自由曲。暗譜） ⑤ 情報音楽分野 ピアノ実技（3分以上の自由曲。暗譜）
舞台芸術	小論文試験 試験当日に与えられたテーマで記述する

※ 学部内選考入学試験において, 必要となる小論文試験及び実技試験の詳細については, 2019年10月頃に配布予定の入学試験要項をご覧ください。過年度の詳細は, 芸術学部教務課大学院係までお問い合わせください。

博士後期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験》

専攻	論文試験の詳細
芸 術	論文試験 試験当日に与えられたテーマで記述する

※ 小論文試験・論文試験ともテーマ・字数・時間等は原則として当日の試験時に指示します。

※ 小論文試験・論文試験ともすべて辞書参照不可です。

2020年度大学院入学試験 審査のための提出作品・論文等の詳細

博士前期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験》

専攻	提出作品・論文の詳細
文芸学	なし
映像芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること（1～4は入学後の研究領域に属するものとする）</p> <p>1 写真作品 1テーマ20点以上のプリント（サイズは8インチ×10インチ判以上）を台紙に貼付すること B/W, カラーいずれも可</p> <p>2 映像作品 提出作品は1本で30分程度を原則とする。 （アニメーション、アート作品などで、連作や1本数分の短編の場合、複数の提出も可とする） 提出作品については以下の要件を十分確認すること。 ※ 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。 それができない場合は、日本語による概要を添付すること。 ※ 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 ※ DVDビデオ・BDビデオで提出する場合は、日本で再生できる方式・リージョンにすること。 必ずファイナライズされたものを提出すること。 ※ フラッシュメモリ等でデータ提出する場合は、提出時の最新のWindows Media Player, または、QuickTime Playerで再生できるものにすること。 ※ フィルム（8mm, 16mm, 35mm）も可。 ※ 作品の分数, また音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。</p> <p>3 シナリオ作品（紙媒体で提出のこと）</p> <p>4 音響作品 ※ ディスク, データで提出どちらでもかまわないが, 映像作品に準じ日本で再生できるもの, また特別な再生指示がある場合は明記すること。 ※ 作品の分数を明記し, スタッフがいる場合はその表（本人の担当を明記）を添付すること。</p> <p>5 論文 日本語によるもの（特別な理由がある場合は外国語も可）とする 4, 000字程度の日本語による概要を添付すること</p>
造形芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>1 絵画分野 油絵60号以上3点以上</p> <p>2 版画分野 版画作品5点以上</p> <p>3 彫刻分野 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊</p> <p>4 コミュニケーションデザイン分野 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>5 インダストリアルデザイン分野 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>6 建築デザイン分野 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>7 造形理論分野 日本語による論文 ※概要を添付すること</p>

音楽芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>1 作曲分野 作品提出（2作品以上） ※ 必ず譜面を提出すること（譜面に録音テープを添付することも可）</p> <p>2 声楽分野 なし</p> <p>3 器楽分野 なし</p> <p>4 音楽学分野 音楽学に関する日本語による論文がある場合は提出すること</p> <p>5 音楽教育分野 なし</p> <p>6 情報音楽分野 作品または論文（日本語による）提出</p>
舞台芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること（1～4は入学後の研究領域に属するものとする）</p> <p>1 映像資料 本人の出演・創舞・演出に該当する場合のみ ビデオテープ・DVD・BD（日本国内で一般的に再生可能なものに限る）等の舞台映像資料 ※ 映像資料は1本とする ※ チラシまたはパンフレットの写し等，必ず本人の担当や名前などが明記されているものを添付すること ※ DVD・BDはファイナライズしておくこと</p> <p>2 戯曲 舞台用に本人が創作した戯曲 戯曲は1本とし，実際に舞台上演されたもの，または戯曲集やそれに相当する媒体に掲載されたもの ※ 舞台上演されたものは実際に使用した台本（チラシまたはパンフレットも添付）を提出すること ※ 戯曲集など書籍収録の場合は，実物またはコピーを提出すること。その場合は，必ず表紙・目次・奥付も添付すること</p> <p>3 舞台資料 今までに関わった舞台等（3作品を限度とする）の「ポートフォリオ（舞台資料）」</p> <p>4 論文 日本語によるもの ※ 概要を添付すること</p>

※ 作品・論文を提出する場合は，自己の作品・論文であることを証明する担当教員の書類（本研究科所定用紙）を添付し，上記のいずれかを出願専攻，氏名を明記の上，試験区分ごとの出願受付期間最終日までに必着するよう芸術学研究科教務課あて持参または郵送すること。

※ 提出作品・論文は，試験終了後，返却します。

※ 学部内選考入学試験において，必要となる提出作品・論文の詳細については，2019年10月頃に配布予定の入学試験要項をご覧ください。過年度の詳細は，芸術学部教務課大学院係までお問い合わせください。

2020年度大学院入学試験 審査のための提出作品・論文等の詳細

博士後期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験》

区分	提出作品・論文の詳細
外国人留学生 及び 一般	<p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>1 論文の場合 日本語による論文と日本語による概要（4,000字程度） 大学院博士前期（修士）課程修了時の修士論文、またはそれに代わる論文</p> <p>2 作品の場合（①・②はいずれも入学後の研究領域に属するものとする） 修了作品等で副論文がある場合は添付すること</p> <p>① 写真作品 1テーマ20点以上のプリント（サイズは8インチ×10インチ判以上）を台紙に貼付すること B/W, カラーいずれも可</p> <p>② 映像作品 提出作品は1本で30分程度を原則とする。 （アニメーション、アート作品などで、連作や1本数分の短編の場合、複数の提出も可とする） 提出作品については以下の要件を十分確認すること。 ※ 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。 それができない場合は、日本語による概要を添付すること。 ※ 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 ※ DVDビデオ・BDビデオで提出する場合は、日本で再生できる方式・リージョンにすること。 必ずファイナライズされたものを提出すること。 ※ フラッシュメモリ等でデータ提出する場合は、提出時の最新のWindows Media Player, または、QuickTime Playerで再生できるものにすること。 ※ フィルム（8mm, 16mm, 35mm）も可。 ※ 作品の分数、また音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。</p> <p>③ 絵画 油絵60号以上の作品3点以上</p> <p>④ 版画 版画作品5点以上</p> <p>⑤ 彫刻 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊</p> <p>⑥ コミュニケーションデザイン 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>⑦ インダストリアルデザイン 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>⑧ 建築デザイン 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>⑨ 音楽 作品2点以上または演奏を録音したCD（器楽または声楽に関するもので40分程度のもの）</p>
社会人	<p>上記論文・作品いずれかに加え、</p> <p>◆研究業績報告書《所定用紙》 場合により業績現物の提出を求めることもある</p>

※ 作品・論文を提出する場合は、自己の作品・論文であることを証明する担当教員の書類（本研究科所定用紙）を添付し、上記のいずれかを出願専攻、氏名を明記の上、試験区分ごとの出願受付期間最終日までに必着するよう芸術学研究科教務課あて持参または郵送すること。

※ 提出作品・論文は、試験終了後、返却します。

<様式>

大学院芸術学研究科入学試験提出作品・論文等証明書

日本大学大学院芸術学研究科長 殿

志願課程 博士前期課程 ・ 博士後期課程 ※いずれかに○を付してください

志願専攻及び分野 _____ 専攻 _____ 分野 (前期課程のみ記入)

志願者氏名 _____

提出作品・論文等題名 _____

作品・論文等内容について (※特に評価する点等を記入してください)

.....
.....
.....
.....

この度、提出しました作品・論文等については、上記のとおり志願者本人が作成したものであることを証明いたします。

_____年 _____月 _____日

証明者 所属機関 _____

職 名 _____ 氏名 _____ ㊟またはサイン

<証明書作成・提出に関する注意事項>

- 1 志願者は証明者に対して、この様式を用いて証明書の作成を依頼してください。(英語または日本語、その他の言語の場合英語または日本語の訳文をつけること。公的機関による翻訳証明を必ず添付すること)
なお、英語で作成する場合も、必ずこの様式を用いてください。(証明者=在籍又は出身校の指導教授またはこれに準ずる者)
- 2 証明書が提出されない場合、作品・論文等は正式受理できません。

2020年度日本大学大学院芸術学研究科入学試験出願資格

1 博士前期課程一般入学試験

- ① 大学を卒業した者及び2020年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2020年3月までに学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月までに授与見込みがある者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
（注 を参照のこと）
- ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び2020年3月までに22歳に達するもの（注 を参照のこと）

注 出願資格⑨・⑩該当者については、事前に入学資格審査を行いますので、**芸術学部教務課大学院係**あてお問い合わせの上、2019年12月3日までに、入学資格審査申請書、入学資格審査調書及び**入学検定料を除く**出願書類一式を、所定の封筒を使用して芸術学部教務課大学院係あて送付してください。

なお、出願書類は、**入学資格審査が終了するまでその受領を保留**します。

2 博士後期課程一般入学試験

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び2020年3月までに取得する見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月までに授与される見込みのある者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月までに授与される見込みのある者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月までに授与される見込みのある者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、修士論文又は特定課題の研究結果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び2020年3月までに24歳に達するもの（注 を参照のこと）

注 出願資格⑧該当者については、事前に入学資格審査を行いますので、**芸術学部教務課大学院係あてお問い合わせの上**、2019年12月24日までに、入学資格審査申請書、入学資格審査調書及び**入学検定料を除く**出願書類一式を、所定の封筒を使用して芸術学部教務課大学院係あて送付してください。

なお、出願書類は、**入学資格審査が終了するまでその受領を保留**します。

3 博士後期課程社会人入学試験

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び2020年3月までに取得する見込みの者で、日本国内の公共機関、企業等に現に勤務し、入学後も継続して勤務を続ける者
- ② 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び2020年3月までに24歳に達するもので、日本国内の公共機関、企業等に現に勤務し、入学後も継続して勤務を続ける者（注 を参照のこと）

注 出願資格②該当者については、事前に入学資格審査を行いますので、**芸術学部教務課大学院係あてお問い合わせの上**、2019年12月24日までに、入学資格審査申請書、入学資格審査調書及び**入学検定料を除く**出願書類一式を、所定の封筒を使用して芸術学部教務課大学院係あて送付してください。

なお、出願書類は、**入学資格審査が終了するまでその受領を保留**します。

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

博士前期課程

本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術の歴史と理論を学び、多様化する高度な表現を論理的かつ批判的に思考し、新たな芸術の研究・表現を創造できる人を求めます。

博士後期課程(芸術専攻)

本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術の豊かな知識・教養と倫理観を持ち、自ら研究課題を発見・解決する方法を思考し、自立した研究・創作活動に挑戦し、次代の芸術をリードする人を求めます。

選考について

日本大学大学院芸術学研究科では、創造性を評価します。論文(小論文)試験では論理性と発想力を審査します。実技・作品審査では技術と表現力を審査します。外国語試験では各専攻において文献・論文研究に必要な読解力を審査します。口述試験では各専攻分野で芸術を学ぶための意欲、適性及び人間性を審査します。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

博士前期課程

日本大学大学院芸術学研究科では、本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術・文化全般にわたる広い視野を持つ者に、修士(芸術学)の学位を授与します。

- ・文芸学、映像芸術、造形芸術、音楽芸術、舞台芸術各専攻の修了要件を満たし、各学問分野における理論や歴史を自ら専門的に探求する力を持つ
- ・芸術を深く研究し、問題を解決することで自ら思考する力を持つ
- ・芸術の研究と表現を磨き、自ら道を開く力を持つ

博士後期課程

日本大学大学院芸術学研究科では、本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術・文化全般にわたる広い視野を持つ者に、博士(芸術学)の学位を授与します。

- ・芸術専攻の修了要件を満たし、理論や歴史を自ら専門的に探求する力を持つ
- ・芸術に関わる自立した創作・研究で問題を解決し、自ら思考する力を持つ
- ・芸術・文化の研究と表現を磨き、自ら道を開く力を持つ

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

博士前期課程

日本大学大学院芸術学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した目標を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成及び実施します。

- ・豊かな知識・教養を身につけ、自らが芸術を理解し、高度な創造力と高い倫理観を身につけることを目標とする
- ・高度な研究・創作方法を身につけ、論理的・批判的思考力を養い、問題の発見と解決を探求する能力を身につけることを目標とする
- ・関連領域への挑戦力を養い、研究と作品、制作の発表を通してコミュニケーション力、協働力を身につけ、さらに社会性も身につけることを目標とする

博士後期課程

- ・高度な知識・教養を身につけ、自らが芸術を理解し、新たな創造を行う能力と高い倫理観を身につけることを目標とする
- ・高度な研究・創作方法を身につけ、論理的・批判的思考力を養い、問題の発見と解決能力を身につけることを目標とする
- ・関連領域への挑戦力を養い、研究と作品、制作の発表を行いながら社会性を身につけ、芸術の理論的構築能力を身につけることを目標とする

文芸学専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論部門				
文芸学特論Ⅰ	4	1・2	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	上田 薫・植月恵一郎
文芸学特論Ⅱ	4	〃		石崎 等
哲学特論	4	〃		藤田一美
芸術心理学特論	4	〃		野村康治
文芸情報学特論	4	〃		ジュリアン マニング
マスコミュニケーション論	4	〃		唐須教光
メディア論	4	〃		此経啓助・松本 洸
文芸史特論	4	〃		立石弘道
芸術社会学特論	4	〃		唐須教光・三宅理一
文芸表現特論	4	〃		佐藤洋二郎・浅沼 博・山本雅男
B. 研究・創作部門				
外国文芸特殊研究	4	1～2	1科目選択必修	植月恵一郎・久保陽子
日本文芸特殊研究	4	〃		浅沼 博・上田 薫・山下聖美
文芸創作特殊研究	4	〃		楊 逸
外国文芸特論Ⅰ	4	1		植月恵一郎・堀 邦維・山内 淳・山本雅男・久保陽子・立石弘道
外国文芸特論Ⅱ	4	2		久保陽子・堀 邦維・山内 淳・立石弘道
日本文芸特論Ⅰ	4	1		山下聖美・上坪裕介・谷村順一・清水 正・中村文昭
日本文芸特論Ⅱ	4	2		上田 薫・山下聖美・上坪裕介・谷村順一・中村文昭
文芸創作特論Ⅰ	4	1		青木敬士・佐藤洋二郎・楊 逸・中村文昭
文芸創作特論Ⅱ	4	2		青木敬士・佐藤洋二郎・楊 逸・中村文昭
C. 関連領域部門				
芸術学特論	4	1・2		村山匡一郎・鷺見洋一・前田富士男
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	〃		鈴木保彦
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洸
映画史特論	4	〃		田島良一・村山匡一郎
放送史特論	4	〃		上滝徹也
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		大熊敏之・金子啓明
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		大熊敏之・金子啓明
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		木村三郎・高橋幸次
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		木村三郎・高橋幸次
日本音楽史特論	4	〃		
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭
演劇史特論	4	〃		織田紘二
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		植月恵一郎
連携理論研究Ⅱ	2	〃		植月恵一郎
連携表現研究Ⅰ	2	〃		植月恵一郎
連携表現研究Ⅱ	2	〃		植月恵一郎
学位論文・作品				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に履修すること

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

映像芸術専攻			
授業科目	単位数	履修年次	履修規定
A. 理論部門			左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない
映像特論	4	1	
写真史特論	4	1・2	
映画史特論	4	〃	
放送史特論	4	〃	
映像構成特論	4	〃	
映像技術特論	4	〃	
映像音響特論	4	〃	
映像教育研究	4	〃	
B. 演習・実習部門			
映像表現研究Ⅰ	4	1～2	
写真特殊研究Ⅰ	4	〃	
映画特殊研究Ⅰ	4	〃	
放送特殊研究Ⅰ	4	〃	
映像メディア特殊研究Ⅰ	4	〃	
映像作品特殊研究Ⅰ	4	〃	
映像技術特殊研究Ⅰ	4	〃	
映像表現研究Ⅱ	2	1・2	
写真特殊研究Ⅱ	2	〃	
映画特殊研究Ⅱ	2	〃	
放送特殊研究Ⅱ	2	〃	
映像メディア特殊研究Ⅱ	2	〃	
映像作品特殊研究Ⅱ	2	〃	
映像技術特殊研究Ⅱ	2	〃	
C. 関連領域部門			1 科目選択必修
芸術学特論	④	1	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2	
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃	
文芸学特論Ⅰ	4	〃	
文芸学特論Ⅱ	4	〃	
哲学特論	4	〃	
芸術心理学特論	4	〃	
文芸情報学特論	4	〃	
マスコミュニケーション論	4	〃	
メディア論	4	〃	
文芸史特論	4	〃	
芸術社会学特論	4	〃	
造形特論	4	1	
建築造形特論	4	〃	
デザイン史特論Ⅰ	2	1・2	
デザイン史特論Ⅱ	2	〃	
建築デザイン史特論Ⅰ	2	〃	
建築デザイン史特論Ⅱ	2	〃	
日本美術史特論Ⅰ	2	〃	
日本美術史特論Ⅱ	2	〃	
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃	
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃	
音楽芸術特論Ⅰ	4	1	
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2	
日本音楽史特論	4	〃	
西洋音楽史特論	4	〃	
情報音楽特論	4	〃	
音楽心理学特論	4	〃	
舞台芸術特論	4	1	
演劇史特論	4	1・2	
民俗芸能特論	4	〃	
舞踊史特論	4	〃	
古典劇特論	4	〃	
映像文献原典講読	4	〃	
D. 連携研究部門			
連携理論研究Ⅰ	2	1	
連携理論研究Ⅱ	2	〃	
連携表現研究Ⅰ	2	〃	
連携表現研究Ⅱ	2	〃	
学位論文・作品・制作			

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

造形芸術専攻					
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者	
A. 理論部門					
造形特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。ただし、デザイン実務研究は修了に必要な単位数に算入しない。	大西若人・山中敏正	
建築造形特論	4	1		三宅理一	
日本美術史特論Ⅰ	2	1・2		大熊敏之・金子啓明	
日本美術史特論Ⅱ	2	1		大熊敏之・金子啓明	
西洋美術史特論Ⅰ	2	1		木村三郎・高橋幸次	
西洋美術史特論Ⅱ	2	1		木村三郎・高橋幸次	
デザイン史特論Ⅰ	2	1		西川 潔・小林昭世	
デザイン史特論Ⅱ	2	1		西川 潔・小林昭世	
建築デザイン史特論Ⅰ	2	1		河東義之	
建築デザイン史特論Ⅱ	2	1		河東義之	
美術教育研究Ⅰ	2	1		金澤健一	
美術教育研究Ⅱ	2	1		金澤健一	
B. 演習・実習部門					
造形芸術研究Ⅰ (絵画・版画)	4	1～2		1 科目選択必修	大庭英治・笹井祐子・福島唯史・瀬島 匠
造形芸術研究Ⅰ (彫刻)	4	1	大槻孝之・鞍掛純一		
造形芸術研究Ⅰ (デザイン)	4	1	木村政司・熊谷廣己・森 香織・佐藤 徹		
造形理論研究Ⅰ	4	1	大熊敏之・熊谷廣己		
造形芸術研究Ⅱ (絵画・版画)	2	1・2	1 科目選択必修	大庭英治・笹井祐子・福島唯史・瀬島 匠・	
造形芸術研究Ⅱ (彫刻)	2	1		木下 晋・櫻井孝美・松下サトル	
造形芸術研究Ⅱ (デザイン)	2	1		鞍掛純一・寺内曜子	
造形理論研究Ⅱ	2	1		木村政司・熊谷廣己・桑原淳司・森 香織・	
造形理論研究Ⅱ	2	1	中島安貴輝・佐藤徹・長瀬浩明・笠井則幸		
造形理論研究Ⅱ	2	1	大熊敏之・熊谷廣己・桑原淳司・木村三郎・		
造形理論研究Ⅱ	2	1	高橋幸次・山中敏正		
造形理論研究Ⅱ	2	1	赤木範陸		
造形理論研究Ⅱ	2	1	吉岡正人		
造形理論研究Ⅱ	2	1	作田富幸		
造形理論研究Ⅱ	2	1	作田富幸		
造形理論研究Ⅱ	2	1	鞍掛純一・小倉洋一		
造形理論研究Ⅱ	2	1	海崎三郎		
造形理論研究Ⅱ	2	1	中島安貴輝・深谷基弘		
造形理論研究Ⅱ	2	1	肥田不二夫・西川潔・深谷基弘		
造形理論研究Ⅱ	2	1	山本守和・土田 修		
造形理論研究Ⅱ	2	1	櫻井孝美		
造形理論研究Ⅱ	2	1	吉岡正人		
造形理論研究Ⅱ	2	1	河野 実		
造形理論研究Ⅱ	2	1	河野 実		
造形理論研究Ⅱ	2	1	鷹尾俊一		
造形理論研究Ⅱ	2	1	大槻孝之		
造形理論研究Ⅱ	2	1	熊谷廣己・肥田不二夫		
造形理論研究Ⅱ	2	1	熊谷廣己・土田 修		
造形理論研究Ⅱ	2	1	小林昭世		
造形理論研究Ⅱ	2	1	森 香織		
造形理論研究Ⅱ	4	1	熊谷廣己		
C. 関連領域部門					
芸術学特論	4	1		村山匡一郎・鷺見洋一・前田富士男	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		鈴木保彦	
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	1		松本 洸	
文芸学特論Ⅰ	4	1		上田 薫・植月恵一郎	
哲学特論	4	1		藤田一美	
文芸情報学特論	4	1		ジュリアン マニング	
映像特論	4	1		小笠原隆夫	
写真史特論	4	1・2		小泉定弘	
映画史特論	4	1		田島良一・村山匡一郎	
放送史特論	4	1		上滝徹也	
音楽芸術特論Ⅰ	4	1		笠羽映子	
日本音楽史特論	4	1・2			
西洋音楽史特論	4	1		平野 昭	
情報音楽特論	4	1		岩宮眞一郎	
音楽心理学特論	4	1		土野研治	
舞台芸術特論	4	1		丸茂祐佳	
演劇史特論	4	1・2		織田紘二	
民俗芸能特論	4	1		宮尾慈良	
古典劇特論	4	1		小田幸子	
芸術心理学特論	4	1		野村康治	
芸術社会学特論	4	1		唐須教光・三宅理一	
造形文献原典講読	4	1		木村三郎	
D. 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2	1		大槻孝之	
連携理論研究Ⅱ	2	1		大槻孝之	
連携表現研究Ⅰ	2	1		大槻孝之	
連携表現研究Ⅱ	2	1		大槻孝之	
学位論文・作品・制作					

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

音楽芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論部門				
音楽芸術特論Ⅰ	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	笠羽映子
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭
日本音楽史特論	4	〃		
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭
情報音楽特論	4	〃		岩宮眞一郎
音楽教育特論	4	〃		澤崎眞彦
音楽心理学特論	4	〃		土野研治
B. 演習・実習部門				
作曲特殊研究	4	1～2	1科目選択必修	伊藤弘之
声楽特殊研究	4	〃		齊田正子
器楽特殊研究	4	〃		田代幸弘・萩原貴子
音楽学研究	4	〃		伊藤弘之
音楽教育研究	4	〃		土野研治
情報音楽研究	4	〃		川上 央・高久 暁
音楽理論研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之・川上 央・土野研治・高久 暁・大寺雅子・三戸勇氣・岩宮眞一郎
音楽理論研究Ⅱ	2	2		伊藤弘之・土野研治・大寺雅子・三戸勇氣・岩宮眞一郎
音楽表現研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之・齊田正子・田代幸弘・萩原貴子・板倉駿夫・稲川榮一・佐々木伸・高木綾子・寺田悦子・袴田和泉・原田 圭・楊 麗貞
音楽表現研究Ⅱ	2	2		伊藤弘之・齊田正子・田代幸弘・萩原貴子・稲川榮一・井上淑子・楊 麗貞
音楽作品研究	2	1・2	今泉 久・齊田正子・上原興隆	
指揮研究	2	〃	今泉 久	
C. 関連領域部門				
芸術学特論	④	1		村山匡一郎・鷺見洋一・前田富士男
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		鈴木保彦
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洸
造形特論	4	1		大西若人・山中敏正
映像特論	4	〃		小笠原隆夫
映像構成特論	4	1・2		仲倉重郎・月岡貞夫
映像音響特論	4	〃		橋本勝次
放送史特論	4	〃		上滝徹也
演劇史特論	4	〃		織田紘二
舞踊史特論	4	〃		丸茂祐佳・貫成人
民俗芸能特論	4	〃		宮尾慈良
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		大熊敏之・金子啓明
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		大熊敏之・金子啓明
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		木村三郎・高橋幸次
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		木村三郎・高橋幸次
文芸史特論	4	〃		立石弘道
哲学特論	4	〃		藤田一美
音楽文献原典講読	4	〃		北岡晃子
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		土野研治
連携理論研究Ⅱ	2	〃		土野研治
連携表現研究Ⅰ	2	〃		土野研治
連携表現研究Ⅱ	2	〃		土野研治
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

舞台芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論・歴史部門				
舞台芸術特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	丸茂祐佳
演劇史特論	4	1・2		織田紘二
舞踊史特論	4	〃		丸茂祐佳・貫成人
民俗芸能特論	4	〃		宮尾慈良
古典劇特論	4	〃		小田幸子
応用演劇特論	4	〃		櫻井 歆・小沢 徹
アート・マネージメント特論	4	〃		
B. 演習・実習部門				
舞台表現研究	4	1～2	1科目選択必修	藤崎周平・加藤みや子
舞踊特殊研究	4	〃		丸茂祐佳・范 旅
戯曲特殊研究	4	〃		中野成樹
舞台演出特殊研究	4	〃		神永光規・藤崎周平
舞台美術特殊研究	4	〃		大久保恵児・千早正美
古典演劇特殊研究	4	〃		原 一平
民俗芸能特殊研究	4	〃		小林直弥
応用演劇特殊研究	4	〃		
C. 関連領域部門				
芸術学特論	④	1		村山匡一郎・鷺見洋一・前田富士男
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		鈴木保彦
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洸
メディア論	4	〃		此経啓助・松本 洸
映像特論	4	1		小笠原隆夫
造形特論	4	〃		大西若人・山中敏正
音楽芸術特論Ⅰ	4	〃		笠羽映子
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭
映画史特論	4	〃		田島良一・村山匡一郎
放送史特論	4	〃		上滝徹也
映像音響特論	4	〃		橋本勝次
音楽心理学特論	4	〃		土野研治
演劇文献原典講読	4	〃		植月恵一郎
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		丸茂祐佳
連携理論研究Ⅱ	2	〃		丸茂祐佳
連携表現研究Ⅰ	2	〃		丸茂祐佳
連携表現研究Ⅱ	2	〃		丸茂祐佳
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論・歴史研究領域				
芸術学特殊研究	②	1	A理論・歴史研究領域から必修単位を含めて4単位以上, B表現研究領域から2単位以上およびC特定研究領域4単位の合計10単位以上を修得しなければならない	鷺見洋一・藤田一美 古賀太・村山匡一郎 高橋則英 小笠原隆夫 上倉泉・山田顕喜 大熊敏之・小林昭世・西川 潔・山中敏正 木村三郎・大熊敏之・前田富士男 上田 薫・植月恵一郎・山内 淳・堀 邦維 上田 薫・堀 邦維・此経啓助・清水 正・山本雅男 此経啓助・松本 洸・草原真知子 高久 暁・土野研治・赤澤立三・平野 昭 笠羽映子 鈴木保彦・澤崎真彦・寺脇 研
映像理論特殊研究	2	1・2		
写真史特殊研究	2	〃		
映画史特殊研究	2	〃		
写真技術特殊研究	2	〃		
映像技術特殊研究	2	〃		
造形理論特殊研究	2	〃		
美術史特殊研究	2	〃		
デザイン史特殊研究	2	〃		
文芸理論特殊研究	2	〃		
文芸史特殊研究	2	〃		
舞台芸術理論特殊研究	2	〃		
演劇史特殊研究	2	〃		
メディア・コミュニケーション特殊研究	2	〃		
音楽理論特殊研究	2	〃		
音楽史特殊研究	2	〃		
芸術教育特殊研究	2	〃		
B. 表現研究領域				
映像表現特別研究	2	1・2	1科目選択必修	奥野邦利・齊藤裕人・鳥山正晴・松島哲也・鈴木康弘・中町綾子・野田慶人・星野 裕・森中慎也・上滝徹也・広沢文則 福島唯史・木村政司・熊谷廣己・森香織・中島安貴輝
造形表現特別研究	2	〃		
文芸表現特別研究	2	〃		
舞台表現特別研究	2	〃		
音楽表現特別研究	2	〃		
C. 特定研究領域				
芸術研究特別演習	④	1～2		浅沼 博・上田 薫・植月恵一郎・山下聖美・楊 逸・西垣仁美・齊藤裕人・鳥山正晴・鈴木康弘・兼高聖雄・星野 裕・森中慎也・大熊敏之・大庭英治・熊谷廣己・森 香織・伊藤弘之・川上 央・田代幸弘・萩原貴子・藤崎周平・山本雅男・楊 麗貞
学位論文				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に, 1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 3年以上在学し, 履修規定に則り10単位以上を修得すること
- ② 学位論文を提出し, 最終審査および試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

◆博士前期課程研究指導教授一覧

2020年度入学者

専攻	教員氏名	専攻	教員氏名	
文芸学	浅沼博	造形芸術	大槻孝之	
	上田薫		大熊敏之	
	久保陽子		鞍掛純一	
	ジュリアン・マニング		奥村祐子 (笹井祐子)	
	百木逸楊 (楊逸)		福島唯史	
	山下聖美		佐藤徹	
映像芸術	浅井譲		音楽芸術	森香織
	西垣仁美			伊藤弘之
	奥野邦利	緒方貴子		
	上倉泉	川上央		
	古賀太	齊田正子		
	齊藤裕人	高久暁		
	玉木則順	田代幸弘		
	鳥山正晴	舞台芸術		小林直弥
	松島哲也		范旅	
	兼高聖雄		藤崎周平	
	鈴木康弘			
	中町綾子			
	星野裕			
	森中慎也			

- ◎ 各教員の専門領域の詳細は「GSA」等を参照してください。
- ◎ 出願書類「研究計画概要書」の**希望指導教授は、上表を参照してください。記入に際しては、必ず事前に芸術学部教務課大学院係にお問い合わせください。**
- ◎ 上表の内容は**2019年4月現在**のもので、教員についての変更等が生じる可能性があります。

◆博士後期課程研究指導教授一覧

2020年度入学者

教員氏名	研究指導領域		教員氏名	研究指導領域		
浅沼博	文芸		森中慎也	映像		
上田薫			星野裕			
百木逸楊 (楊逸)			大熊敏之	造型		
山下聖美			福島唯史			
西垣仁美			鞍掛純一			
奥野邦利	映像		森香織	音楽		
上倉泉			伊藤弘之			
古賀太			緒方貴子			
齊藤裕人			川上央			
玉木則順			田代幸弘			
鳥山正晴			齊田正子	舞台		
松島哲也			小林直弥			
兼高聖雄			范旅			
鈴木康弘			藤崎周平			
中町綾子						

- ◎ 各教員の専門領域の詳細は「G S A」等を参照してください。
- ◎ 出願書類「研究計画概要書」の**希望指導教員は、上表を参照してください。記入に際しては、必ず事前に芸術学部教務課大学院係にお問い合わせください。**
- ◎ 上表の内容は**2019年4月現在**のものです。教員についての変更等が生じる可能性があります。

事前相談・連絡申込書

日本大学大学院芸術学研究科の大学院入学試験への出願を検討しており，希望指導教授と事前面談及び連絡をいたしたく，以下のとおり申込みます。

氏名	(フリガナ)
	(漢字又はローマ字) ※外国籍の場合は在留カードまたはパスポートに記載の表記
連絡先	Tel: e-mail:
国籍・性別	
志願先	博士 課程 芸術学 研究科 専攻
最終学歴 (日本語学校は除く)	教育機関名： 専攻学問： 年 月 日 入学 年 月 日 修了・修了見込 取得学位： 学校教育年数： 年 (小学校～最終学歴)
入学後の研究テーマ	
入学後の研究内容 (制作・作品内容)	※具体的に記入すること (不足の場合は裏面をお使いください)
希望する指導教授名	
希望面談日等	第1希望 月 日 または 曜日 第2希望 月 日 または 曜日 第3希望 月 日 または 曜日 (希望時間帯： 時 ～ 時)

事前連絡確認書

下記の志願者について、日本大学安全保障輸出管理規程の第11条に基づき、希望する指導教員及び研究テーマ等を確認いたしました。

なお、本研究科において当該志願者の受入れにあたり、教育・研究・指導等に支障がないことを申し添えます。

氏名	(フリガナ)
	(漢字又はローマ字)
生年月日	年 月 日
国籍	
志願先	博士前期 or 後期 課程 芸術学 研究科 ○○○ 専攻
研究テーマ	○○○○の研究 (事前面談時に、具体的な研究テーマを面談教員に伝えること)
希望する指導教員名	
【判定結果】	<input checked="" type="checkbox"/> 取引審査不要 <input type="checkbox"/> 取引審査が必要のため審査中

日本大学大学院芸術学研究科
 確認者氏名： ○○○専攻 教授 ○○ ○○

確認日： 年 月 日

パスワード： _____

大学印又は教員印 (※サイン不可)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> 大学 教務課 受付印 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> 面談 教員印 </div> </div>

【志願者の方へ】

※出願時に本書を他の出願書類と一緒に、出願書類の送付先へ提出してください。

※本確認書に記載の志願先のみ出願することができます。志願先以外の研究科・専攻に出願することはできません。

※パスワードは絶対に他人に教えないでください。